

2022 年度秋学期授業評価アンケート集計結果について

2024 年 3 月 26 日

設問について

設問は全部で 10 あるが、問 1 から問 9 までは 4 つのカテゴリー、「A：履修者の自己評価」「B：シラバスについて」「C：担当者と授業について」「D：授業の成果について」に分類される。これに加えて、問 10 として自由記述を設けている。これにより、幅広く学生の意見を聴取することを意図している。

この結果をもとに、科目担当者はシラバスの振り返り項目にレスポンスを記入することになっている。

設問区分	設 問	
A	問 1	私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。
	問 2	この授業の授業時間外の学習時間（授業 1 回ごとの平均） ① 4 時間以上 ② 3～4 時間 ③ 2～3 時間 ④ 1～2 時間 ⑤ 30 分～1 時間 ⑥ 30 分未満
B	問 3	私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。
	問 4	担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。
C	問 5	授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。
	問 6	授業の内容はわかりやすかった。
	問 7	授業の進度は適切だった
	問 8	授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言を与えたり質問に答えたりしてくれた。
D	問 9	総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。
自由記述	問 10	授業をよりよくするために、担当教員やこの授業について良かった点、改善すべき点があれば書いてください。

設問に対する回答（問1および問3～問9）は、以下の選択肢から選ぶように求めている。

回答内容	マークシートの番号
強くそう思う（Agree Strongly）	①
そう思う（Agree）	②
どちらかといえば そう思う（Somewhat Agree）	③
どちらかといえば そう思わない（Somewhat Disagree）	④
そう思わない（Disagree）	⑤
全くそう思わない（Disagree Strongly）	⑥

以下、分析は「教養教育科目」「専門教育科目」「言語教育科目」のカテゴリーごとに設問の問1～問9について個別に行う。問10については自由記述のため、上記の3つのカテゴリーをまとめて分析する。

分析結果によるコメントを最後に全体のまとめとしてのコメントを記載する。

教養教育科目について

科目登録人数 1661 件のうち、有効回答の割合は 64.0%（昨年度 73.6%、今年度春学期 64.6%）。以下、設問ごとに集計結果の分析を行う。

問1 私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。

①から③までの回答が全体の 95.3%を占めており、回答したほとんどの受講生が自主的かつ意欲的に取り組んでいることがわかる（昨年度 94.8%、今年度春学期 94.0%）。

問2 この授業の授業時間外の学習時間

教養教育科目の場合、そのほとんどが 1 科目 2 単位であるので、各授業に対して求められる授業外学習時間は 4 時間である。4 時間以上と回答しているのは、全体の 2.9%にとどまっている（昨年度 1.6%、今年度春学期 3.6%）。

問3 私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。

①から③までの回答が全体の 93.9%であり、シラバスの事前理解の必要性は十分に学生たちに浸透しているといえる（昨年度 91.6%、今年度春学期 91.0%）。

問4 担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。

①から③までの回答が全体の 97.5%であり、問題なく当該設問に対しては対応できていると思われる（昨年度 94.8%、今年度春学期 95.4%）。

問5 授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。

①から③までの回答が全体の 96.2%と、当該設問については問題なく対応できていると判断する（昨年度 92.3%、今年度春学期 90.0%）。

問6 授業の内容はわかりやすかった。

①から③までの回答が全体の 95.2%であり、当該設問に対して十分に対応できていると判断する（昨年度 93.6%、今年度春学期 91.5%）。

問7 授業の進度は適切だった。

①から③までの回答が全体の 97.8%であり、受講生のほとんどが「適切」であると判断しているといえる（昨年度 96.0%、今年度春学期 94.5%）。

問8 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言

を与えたり質問に答えたりしてくれた。

①から③までの回答が全体の 93.4%であることから、授業担当者は授業内外において適切な教育環境の維持に努め、その成果が表れていると思われる（昨年度は 90.6%、今年度春学期 90.3%）。

問9 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

①から③までの回答が全体の 94.4%であり、学生にとって適切な授業提供が行われていると判断できる（昨年度 94.3%、今年度春学期 92.0%）。

専門教育科目について

科目登録人数 1528 人のうち、有効回答の割合は 54.0%（昨年度 73.6%、今年度春学期 54.4%）。以下、設問ごとに集計結果の分析を行う。

問1 私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。

①から③までの回答が全体の 97.7%を占めており、回答したほとんどの受講生が自主的かつ意欲的に取り組んでいることがわかる（昨年度 94.8%、今年度春学期 94.0%）。

問2 この授業の授業時間外の学習時間

教養教育科目の場合、そのほとんどが 1 科目 2 単位であるので、各授業に対して求められる授業外学習時間は 4 時間である。4 時間以上と回答しているのは、全体の 2.9%にとどまっている（昨年度 1.6%、今年度春学期 3.6%）。

問3 私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。

①から③までの回答が全体の 95.8%であり、シラバスの事前理解の必要性は十分に学生たちに浸透しているといえる（昨年度 91.6%、今年度春学期 95.6%）。

問4 担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。

①から③までの回答が全体の 97.2%であり、問題なく当該設問に対しては対応できていると思われる（昨年度 95.9%、今年度春学期 97.2%）。

問5 授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。

①から③までの回答が全体の 97.2%と、当該設問については問題なく対応できていると判断する（昨年度 92.9%、今年度春学期 94.9%）。

問6 授業の内容はわかりやすかった。

①から③までの回答が全体の 95.0%であり、当該設問に対して十分に対応できていると判断する（昨年度 93.6%、今年度春学期 93.1%）。

問7 授業の進度は適切だった。

①から③までの回答が全体の 96.4%であり、受講生のほとんどが「適切」であると判断しているといえる（昨年度 96.0%、今年度春学期 95.3%）。

問8 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言

を与えたり質問に答えたりしてくれた。

①から③までの回答が全体の 94.2%であることから、授業担当者は授業内外において適切な教育環境の維持に努め、その成果が表れていると思われる（昨年度 93.9%、今年度春学期は 92.1%）。

問9 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

①から③までの回答が全体の 97.3%であり、学生にとって適切な授業提供が行われていると判断できる（昨年度は 95.9%、今年度春学期は 96.0%）。

言語教育科目について

科目登録人数 1954 人のうち、有効回答の割合は 68.0%（昨年度 65.5%、今年度春学期 73.8%）。以下、設問ごとに集計結果の分析を行う。

問1 私は、自主的かつ意欲的に取り組んで、この授業を受けた。

①から③までの回答が全体の 96.5%を占めており、回答したほとんどの受講生が自主的かつ意欲的に取り組んでいることがわかる（昨年度は 97.2%、今年度春学期 97.5%）。

問2 この授業の授業時間外の学習時間

言語教育科目は一部授業を除き 1 科目 1 単位であるので、1 回に授業に求められる授業外学習時間が 1 時間と定めている。1 時間以下の学習時間と回答しているのは全体のうち 39.3%であることから、約 6 割の学生が十分な学習時間を確保していると思われる。

問3 私は、この授業を履修する際、何を学習するかを理解するために、シラバスを読んだ。

①から③までの回答が全体の 93.4%であり、シラバスの事前理解の必要性は十分に学生たちに浸透しているといえる（昨年度 90.2%、今年度春学期 90.2%）。

問4 担当者は、シラバスで授業の目標や計画、授業の評価方法を適切に示していた。

①から③までの回答が全体の 97.0%であり、問題なく当該設問に対しては対応できていると思われる（昨年度 96.3%、今年度春学期 96.5%）。

問5 授業は担当者の教え方（説明の仕方や話し方）は適切だった。

①から③までの回答が全体の 97.4%であり、当該設問については問題なく対応できていると判断する（昨年度 94.1%、今年度春学期 90.0%）。

問6 授業の内容はわかりやすかった。

①から③までの回答が全体の 96.5%であり、当該設問に対して十分に対応できていると判断する（昨年度 93.9%、今年度春学期 91.3%）。

問7 授業の進度は適切だった。

①から③までの回答が全体の 97.4%であり、受講生のほとんどが「適切」であると判断しているといえる（昨年度 95.8%、今年度春学期 95.8%）。

問8 授業担当者は、学生が質問や相談をしやすい環境・雰囲気作りを行い、適切な助言

を与えたり質問に答えたりしてくれた。

①から③までの回答が全体の 97.3%であることから、授業担当者は授業内外において適切な教育環境の維持に努め、その成果が表れていると思われる（昨年度 95.1%、今年度春学期 96.1%）。

問9 総合的にみて、この授業は私にとって有益だった。

①から③までの回答が全体の 97.4%であり、学生にとって適切な授業提供が行われていると判断できる（昨年度 94.7%、今年度春学期 96.5%）。

自由記述について

問10 授業をよりよくするために、担当教員やこの授業について良かった点、改善すべき点があれば書いてください。

自由記述のコメントを付してくれていたのは有効回答数 5206 のうち 58.6%であり、今年度春学期とほぼ同じ割合であった。昨年度は…

回答のうち全体の6割近く「特にありません」というコメントであり、また3割弱が担当教員への謝辞だった。したがって、全体の1割程度により詳細なコメントが付されている。そのうちの多くは、授業の進め方や内容、教員の言動等に関する好意的な意見だった。

批判的な内容のコメントは昨年度よりも減少しており、あまり見られなかった。特に多かった設備に関するコメントはゼロに近い。おそらく、春学期のアンケート結果の報告でも述べられているように、特にインターネット環境が改善されたためであろう。とはいえ、一部の教員の授業の運営に対して、複数の批判的なコメントが付されていることは看過できない。この点については、学生委員会および学生サポート課で改善に向けての対応を行うことになる。

自由記述にコメントを付してくれていたのは有効回答数 5493 のうち、50.7%であり、春学期と比較すると若干増加している（前学期は47.4%）。全体の6割近くは「特にありません」といったようなコメントであり、また3割弱は教員に対する謝辞だった。したがって、全体のうち1割程度により詳細なコメントが書かれていたことになる。「特にありません」あるいは謝辞以外のコメントの中でも、そのうちの大半は授業の内容や教員に対して好意的なものだった。

批判的と思われる内容についてであるが、そのうちの多くがオンライン授業に関連する指摘だった。秋学期は学期の最後2～3週間をオンライン授業にしたため、この種の指摘が多かったと推察する。オンライン授業に関しては、教員側も学生側もまだ不慣れなところもあり、今後改善の余地があると思われる。それ以外では、春学期同様、教員からの発言を快く思わないもの、授業内における指示の不徹底などが数件見られたが、その内容については教育支援部で協議を行い、必要に応じて担当教員と面談を行い、改善を求めている。

コメント

全体としては肯定的な回答がいずれの設問においても9割を超えており、諸項目について十分に対応できていると判断できる。春学期と比較した場合、多くの項目で好意的な数値が向上しており、またそうではない項目についても春学期とほとんど同じ数値、あるいは微減にとどまっている。カテゴリー別では、昨年度は「言語教育科目」の数値が、「教養教育科目」「専門教育科目」と比較して高い結果となっていたが、今年度の春学期はいずれのカテゴリーでも高いレベルの数値を示していたが、これは今学期も同様である。

自由記述の回答に関しても春学期同様、好意的なコメントが大半を占めていることは特筆すべきであろう。前述のとおり、批判的なコメントの割合が減少しているのは、教員個人が昨年度のアンケートの結果を受けて、授業改善に取り組んできた結果であると思われる。

今後このアンケートの結果をよりよく活用するための方策として以下の点を関連部署で検討を行う。

① 回答率の向上

回答率が全体でも6割にとどまっていることから、向上させる取り組みを行う必要がある。回答方法について教育支援課で協議を開始している。

② 授業外学習時間の確保

特に「教養教育科目」「専門教育科目」における数値が低いことに注視し、これを向上させる方策を検討する。後述の「振り返り」の箇所にも、授業外学習時間を担保するための工夫について今後は記載を担当者にお願いする方向で調整を行っている。

③ 担当者からのフィードバック

現在、担当者は授業の振り返りを記載することになっているが、記載項目をいくつか指定することで、より効果的なフィードバックになるよう検討を行っている。

以上